

競技注意事項

1. 競技規則

2022 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス（最新版）に基づいて実施する。靴底の厚さについては、ソールの最大の厚さが次の厚さを越えないこと。【TR5.】

トラック種目 800m未満：20mm、800m以上：25mm フィールド種目 20mm

フィールド競技シューズ規則（TR5）は今年度より適用されます。特に砲丸投では靴底の厚さが 20mm を越えてしまうシューズでの出場ができません。スローイングシューズ以外で出場する場合は十分気を付けてください。 ※靴底の厚さが心配な場合は複数の靴を持参してください。

2. 選手受付

選手受付は、競技場正面入口付近に設置する。（雨天時は、別の場所の場合もある。）

引率顧問による学校毎の受付を行う。（朝 7 時 00 分より開始）

- 【提出物】①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関わる報告書・AD 申請書（様式 A）
②欠場届（様式 B） エントリーしている選手で、あらかじめ不参加の選手がいる場合は、提出する。
③外部指導者申請書（様式 C） 必要な場合のみ。合わせて体調管理チェックシート（様式 F）も提出。
④プログラム訂正用紙（様式 E） 訂正箇所がある場合は、提出する。

- 【配付物】①連絡徹底用紙 ②プログラム（選手 3 人に 1 冊＋チーム 1 冊）③領収書
④引率顧問 AD

※1 日目の 7 時 30 分以降に受付を行う学校（2 日目に受付を行う学校を含む）は、TIC にて選手受付を行う。

3. T I C

T I C は、競技場正面玄関ホールに設置する。

(1) 各種問い合わせ、審判長への抗議・上訴の受付、落とし物の取り扱いなど

(2) リレーオーダー用紙（様式 D）の提出

(3) シューズの厚底の計測 ※あらかじめ TIC でチェックを受けておくと、招集時にスムーズ。

トラック競技 800m 以上の種目は 25mm 以下の厚さ フィールド種目 20mm

(4) プログラム販売（1 冊 500 円）

(5) マスクの販売（1 つ 100 円）

4. 招集

(1) 本競技会では、1 次招集は 100m スタート後方の入場ゲート、2 次招集は各競技場所で行う（別紙『招集時及びゴール後の会場内での選手の動き（動線）』を参照のこと）。

(2) 競技場への入場は 100m スタート後方の入場ゲートのみとし、1 次招集時間内に入場する。なお、1 次招集の開始時刻は、競技日程の入場開始時刻とする。

(3) 1 次招集の際、ユニフォーム、アスリートビブス（ナンバーカード）、競技時に使用するシューズ、商標等のチェックをする。また、トラック種目で、スパイク以外のシューズを使用する場合は、靴底の厚さを計測する。

(4) 代理人による招集は認めない。2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第 1 種目の入場（1 次招集）の際に招集所備え付けの「2 種目同時出場届」を競技者係（入場ゲート係員）に提出すること。届け出が完了すれば、第 2 種目の招集を事前に受けることができる。

(5) 2 次招集完了時刻に、各競技場所にてアスリートビブスのチェック（最終点呼）を行う。2 次招集に遅れた競技者は当該競技を欠場したものとみなす。

(6) トラックの横断は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行い、細心の注意を払うこと。また、出場する選手以外は競技場に入らない。

（横断可能な場所は、別紙『招集時及びゴール後の会場内での選手の動き（動線）』を参照のこと）

(7) 混成（四種）競技者は、1 日目と 2 日目の最初の種目は 1 次招集を行うが、2 種目目の種目は 2 次招集から行うこととする。

(8) リレーのオーダー用紙（様式 D）は、招集完了時刻の 1 時間前までに T I C に提出する。

5. アスリートビブス（ナンバーカード）、腰ナンバー標識

(1) アスリートビブスは各校（各選手）で持参し、そのままの大きさと胸と背部に確実に固定する（跳躍競技については胸または背部どちらかでよい）。

(2) 必ずプログラムに記載されたナンバー（登録ナンバーと同一）が記載されたカードを用いる。

(3) 800m、1500m、3000m の競技者は、自分のアスリートビブス（ナンバーカード）を胸と背に固定するとともに、1 次招集（会場入場）時に腰ナンバー標識を受け取り、パンツ右側の上部、やや後ろにつける。なお、腰ナンバー標識はシール式のため返却の必要はない。

競技注意事項

6. 競技方法

(1) トラック競技

- ①レーン順はプログラム記載の通りとする。
- ②短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ③短距離走においては、予選の記録によりA決勝（着取り＋上位者の合わせて8名 ※場合によってはタイムレース8位）とB決勝（タイムレース9位～16位）を行う。本大会における1～8位についてはA決勝の順位で決定を行い、B決勝の選手の記録が上位になっても総合順位が入れ替わることはない。
- ④予選のあるトラック競技の決勝の組合せ及びレーン順は、アナウンスによる発表とともに、選手・監督の確認用に2階コンコースの掲示板にて発表する。また、長野陸協HPでも発表する。

(2) フィールド競技

- ①試技順はプログラム記載の通りとする。
- ②走高跳は本競技場にてのみ跳躍練習を行うことができる。（入場開始時刻を早めてある）
- ③フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ④跳躍種目の競技者は、助走路の外側に主催者が用意した規定のマーカーを2個まで置くことができる。走高跳は競技者が準備したマーカーを助走路内に2箇所まで置くことができる。
- ⑤砲丸投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを1つだけ置くことができる。これらの撤去は使用した競技者が責任をもって行う。
- ⑥走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下の通りとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更することもある。なお、混成競技については最後の1人になっても上げ方の変更はしない。また、男女の共通走高跳は、2ピット同時に決勝を行う。
 - 走高跳
 - 《男子》（練習：1m35, 1m65）1m40から1m70までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる
 - 《女子》（練習：1m25, 1m45）1m30から1m45までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる
 - 四種競技（走高跳）
 - 《男子》（練習：1m30, 1m40, 1m60）1m35から1m60までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる
 - 《女子》（練習：1m10, 1m25, 1m40）1m15から1m40までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる
 - 棒高跳
 - 《男子》（練習：2m00/3m00/3m50/4m00）2m20から3m40までは20cmずつ上げ、以降10cmずつ上げる
 - 《女子》（練習：2m00/2m40/2m80）1m80から2m00までは20cmずつ上げ、以降10cmずつ上げる
- ⑦棒高跳および砲丸投に使用する滑り止め用の炭酸マグネシウムは共有しない。希望者には競技場所にて少量渡すので、それを使用する（複数名で使いまわしはしない）。

(3) リレー競技

- 4×100mリレーの競技者は、自らが用意した大きさが最大50mm×400mmの粘着テープを1箇所、自らのレーン内に貼ることが許される。それ以外のマーカーの使用は認められない。その撤去は使用したチームが責任をもって行う。

(4) 抗議と上訴

- 競技会進行中に起きた競技者の行為及び順位に関する抗議は、正式結果が発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、その種目に出場した競技者自身または代理人が「TIC」まで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、ジュリーに上訴することができる。その手続きは、「上訴申請書」を記入し預託金（1万円）を添え、TICまで申し出る。

(5) 助力

- ①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出た上で、競技役員の指示に従って行動しなければならない。
- ②ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③顧問等からの助言は競技場区域外（メインおよび芝生スタンド）のみとし、コーチングエリア（C・A）が設置の場合はそちらを使用する。その際、そこで録画した映像を見せることは助力にはならないが、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなし、該当の競技者は警告され、同行為を繰り返すと失格の対象となる。

競技注意事項

7. 表彰

- (1) 各種目、第1位から第8位には賞状を授与する。
- (2) 表彰式を行うので、競技終了後マーシャルの指示に従い、待機所（100m ゴール横倉庫内）にて待機し、表彰係の指示で表彰授与所（メインスタンド下）へ移動する。

8. 北信越大会

- (1) 本大会において、すでに県大会にて決定している北信越出場者3名・リレー3チームを除く最上位の1名・1チームについて、北信越大会に推薦する。なお、同一者が複数種目で最上位となった場合は、専門部で検討し推薦する種目を決定する。
- (2) (1)の該当校の代表者は、本大会期間中にT I C（競技場正面：玄関ホール）に申し出ること。
※2日目 14:00
- (3) 北信越大会に関わる参加料等の受付は、以下の時間にT I Cにて行う。
※両日とも7:00～9:00

9. 全国大会

本大会で全国大会参加標準記録を突破した競技者は、8月18日(木)～21日(日)に福島県とうほう・みんなのスタジアムで行われる、第49回全日本中学校陸上競技選手権大会への出場権を得る。該当の競技者もしくは学校代表者は本大会期間中に、TICにて申し込み手続きを行う。

10. その他

- (1) 競技で使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。
- (2) スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。
- (3) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。
- (4) 新型コロナウイルス感染対策のため、声を出しての応援は禁止する。また、メガホン等鳴り物の応援も禁止する。すべての場所で、集団応援は禁止する。競技役員による指導が入った場合は、速やかに応じる。
- (5) スタンドでの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認められない。また、撮影禁止エリアでの撮影は一切できない。また、本人・保護者の許可なく部外へ掲載したりデータ送信したりすることは厳禁とする。
- (6) ゴミは各自持ち帰ること。
- (7) プログラムに記載されている個人情報、大会運営業務以外には使用しない。ただし、競技成績は、長野陸上競技協会のホームページに掲載されることがある。
- (8) 昨今、盗難事象が発生することがあるため、各校待機場所が無人にならないようにするなど、学校毎に管理をお願いしたい。
- (9) 競技結果は選手・顧問が確認できるように、2F コンコースに掲示を行う。また、アナウンスによる発表とともに、長野陸協Data_Webのリザルトページ (https://nrk-dir.jp/result/result_2022) に1種目終了するごとに結果をアップするので、そちらで確認すること。